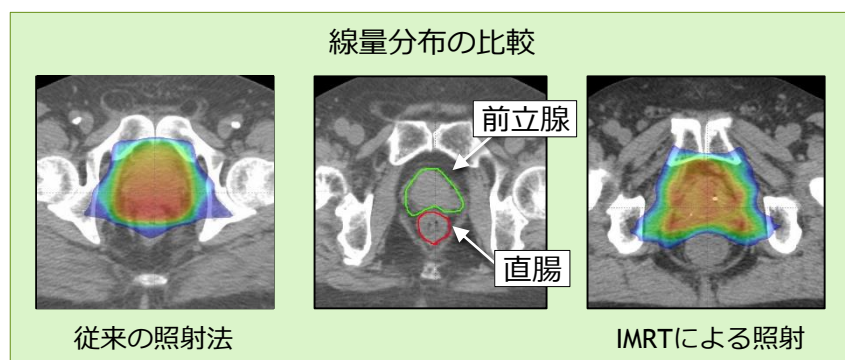


前立腺癌に対する強度変調放射線治療の開始のお知らせ

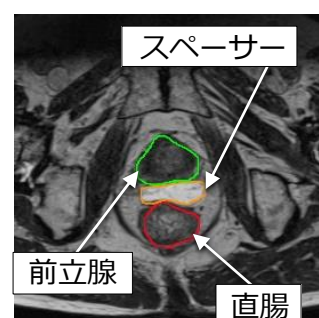
当院の放射線治療部門では令和3年6月より、高精度放射線治療である強度変調放射線治療（IMRT）による前立腺照射を開始いたしました。

強度変調放射線治療（IMRT）とはコンピューターを用いて、放射線のあてかたに強弱をつけることが出来る技術であり、正常組織への放射線をなるべく減らしながら腫瘍部分には多くの放射線を照射することが可能になります。これにより副作用を低減すると共に、腫瘍の制御率を上げることができます。



上図のように、IMRTによる照射ではリスク臓器である直腸を避けながら前立腺のみに放射線を集中してあてることができます。

さらに、当院では前立腺癌のIMRT前に泌尿器科でハイドロスパーサー留置術及び金マーカー留置術を行っています。

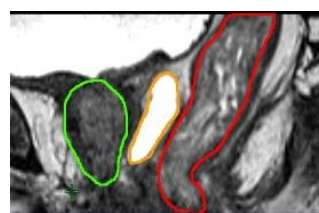


ハイドロスパーサー留置術

前立腺と直腸の間にハイドロゲルと呼ばれるゲル状の物質を注入することにより、リスク臓器である直腸への放射線量を大きく減らして、副作用をさらに減らすことができます。

金マーカー留置術

金マーカーを目印にすることにより、コンピューターで計画した通り正確に放射線を照射することができます。



矢状断

また、当院のIMRTでは寡分割照射を行っています。これにより、通常よりも短い期間で放射線治療を終えることができます。